

牛頸区ホームページ: <http://www.kouminkan.info/onojo/ushikubi/>

牛頸区ホームページは大野城市と南コミュニティホームページのリンク集からもご覧になれます

【七月の行事報告】

★公民館に2本の七夕飾り登場



1本は、7月2日(土)牛頸文庫の皆さんで、七夕飾りを作りました。2本目は、7月6日(水)牛頸子育てサロン「あいあいくらぶ」の皆さんで作られた七夕飾りです。どちらの七夕飾りも素晴らしい出来栄で公民館を華やかに飾っています。笹には、みんなの願い事を書いた短冊や飾りを結びました。また、小さな笹にそれぞれ飾りを作って家に持ち帰りました。

★区対抗ソフトバレーボール大会

7月3日(日)南コミュニティ運営委員会主催で開催され、20チーム計230人が参加して熱戦が繰り広げられました。牛頸区よりアモレ・UFO・ヤクルトレディ+Aの3チームが出場しました。試合結果・Gクラスでヤクルトレディ+チームが3位、Sクラスでアモレチームが3位に入賞しました。熱気溢れるプレーで盛り上がりました。

★『牛頸ふれあい会』

(ひとり暮らし・昼間ひとり暮らし高齢者交流会)が22日に開催され血圧測定・健康相談と、講話「熊本震災被災地支援から学ぶもの!」があり、参加者の皆さんで、カラオケ・フラダンス・踊り・ハンドベル等9演目があり、参加者総勢72名が明るく楽しい一時を過ごされました。



★盆踊り講習会と練習

4日(土)午前は大野城市総合体育館で恒例の盆踊り講習会が開催され牛頸区より20名が参加しました。牛頸公民館でも7月7日・21日・午後7時半から盆踊り練習をし、それぞれ約20名参加し熱心に練習を重ねました。8月4日も練習します。多数の参加をお願いします。

★平野神社「およど」

伝統の行事「およど」が18日平野神社で開催されました。夏を告げる祭り、夜店が並び近隣の沢山の人が集まりました。およそ一年の半分(旧暦六月)が過ぎ、半年間の穢れ(汚れ・気枯れ)を落とし、秋の豊作を願う氏子の年中行事になります。



南地区に一つだけの神社で地域の氏神様でもあります。子ども達も熱心をお願い事をしていました。

【区からのお知らせとお願い】

★牛頸公民館 夏休み学習教室開放中

猛暑到来の今夏、暑さをしのぎ公民館で勉学に励んで下さい。実施日程は回覧していますが、不明時は公民館へご確認の上お越しください。

★お盆期間中の公民館休館

8月12日から15日は公民館の休館日です。

★お盆のお供え物特別収集について

・持出し日時: 8月15日(月)夕方から夜10時まで
・持出し場所: 消防団第四分団機材庫横(看板設置)

★公民館 古紙回収庫等への不法投棄撲滅のお願い

最近とみに布団等の回収庫へ収納出来ない物品が多く廃棄されており回収業者も引き取りません。後処理に大変困っています。どうかマナーを守って頂きますようお願いいたします。

★牛頸区盆踊り大会

8月16日(火)午後6時半から盆踊り大会を開催します。平野神社での盆踊り大会を区民はじめ大勢の皆様で賑わい、盛り上げたいものです。南ん子太鼓の演奏に始まり総踊りでは、櫓の周りを皆さん一同で二重・三重となり踊りましょう。景品も揃えていますので、抽選券を忘れずにお持ちください。今回も大野ジョー特別ショーを予定しています。

【八月の行事予定】

- 三日 牛頸子育てサロン「あいあいくらぶ」: 一〇時〜
- 四日 第一回史跡対策委員会: 九時三〇分〜
- 四日 盆踊り練習(公民館): 一九時三〇分〜
- 六日 隣組長会: 一九時三〇分〜
- 九日 「牛頸あいあいカフェ」: 一四時〜
- 一六日 「牛頸区盆踊り大会」: 一八時三〇分〜
- 二二日 ケア会議・企画調整会議: 九時〜
- 二三日 牛頸足元気教室: 一〇時〜
- 三十日 シニアふれあい交流会: 一〇時〜

【九月の行事予定】

- 三日 公民館運営協議会: 一〇時〜
- 四日 福岡県消防操法大会: 福岡県消防学校

(牛頸第4分団が出場しますので、応援よろしくお願い致します。)

♪♪♪ 編集後記 ♪♪♪

10年ほど前、詩吟を習っていた時期がありました。そこで出会ったのが吉田松陰辞世の句でした。

「親思ふ心にまざる親心けふのおとすれ何とぎくらぶ」

(意味: 子が親を思う心よりも、子を思いやる親の気持ちのほうがはるかに深い。今日のこの報せを聞いた親は、何と思うだろうか!) 自分の両親も含めて、この句に表現されたような親の思いで、今まで子育てに励んでこられた方も多いかと思えます。最近内外で色々な事件が起こっていますが、南地区の学校でもいろいろの噂を耳にします。親・子・地域・学校・お互いに考える必要があると思います。でも吉田松陰、彼ほど偉大な人物が、人生の最後にこの句を遺している事実を改めて認識し、深い感動を覚えました。

